

**2018年3月期 第3四半期決算 要旨**
**連結損益計算書 (要約)**

(億円)	2017年3月期		2018年3月期			
	第3四半期 累計実績	通期実績	第3四半期 累計実績	前年同期比	11/30修正 通期計画	前期比
売上高	2,857	3,669	2,608	-9%	3,300	-10%
営業利益	350	295	256	-27%	130	-56%
経常利益	353	285	243	-31%	100	-65%
税引前当期純利益	430	337	244	-43%	-	-
親会社株主に帰属する当期純利益	365	276	137	-62%	50	-82%
1株当たり配当(円)	20	40	20	-	40	-
1株当たり当期純利益(円)	155.84	117.79	58.68	-	21.33	-
1株当たり純資産(円)	1,356.30	1,313.06	1,339.46	-	-	-

**<2018年3月期 第3四半期実績>**
**【売上高・利益/その他】**

- 売上高：2,608億円、営業利益：256億円、親会社株主に帰属する当期純利益：137億円
- 通期業績予想を修正（11月30日公表）
- 前年同期比で減収、減益
- 遊技機事業において3Qでの大型タイトルの販売なし
- エンタテインメントコンテンツ事業全般が好調

**<今後の見通し>**

- 遊技機事業においては大型タイトルの販売予定なし
- エンタテインメントコンテンツ事業は複数の新作タイトルの投入を予定
- 複数の新作タイトル投入を予定することから、今後の販売動向や営業費用の発生状況等の見極めが必要

**各種費用等の実績**

(億円)	2017年3月期		2018年3月期			
	第3四半期 累計実績	通期実績	第3四半期 累計実績	前年同期比	11/30修正 通期計画	前期比
研究開発費・コンテンツ制作費	488	671	455	-7%	-	-
設備投資額	208	270	162	-22%	-	-
減価償却費	120	163	122	+2%	-	-
広告宣伝費	112	148	117	+4%	-	-

**連結貸借対照表 (要約)**

【資産の部】				【負債・純資産の部】			
科目	2017年3月期末	当第3四半期末	増減	科目	2017年3月期末	当第3四半期末	増減
流動資産	3,241	2,878	-363	流動負債	1,125	878	-247
固定資産	1,974	1,972	-2	固定負債	975	809	-166
				負債合計	2,101	1,688	-413
				純資産合計	3,114	3,162	+48
資産合計	5,215	4,850	-365	負債及び純資産合計	5,215	4,850	-365
				科目	2017年3月期末	当第3四半期末	増減
				自己資本比率	59.0%	64.7%	+5.7pt
				流動比率	287.9%	327.6%	+39.7pt

- 総資産：365億円減少の**4,850億円**
- 流動資産：現金・預金及び売上債権の減少により、**363億円**減少
- 負債：仕入債務の決済や社債償還、借入金の返済等により、**413億円**減少
- 自己資本比率：5.7ポイント上昇の**64.7%**
- 流動比率：39.7ポイント上昇の**327.6%**（2017年3月期末 流動比率：287.9%）

**遊技機事業**

(億円)		2017年3月期		2018年3月期			
		第3四半期 累計実績	通期実績	第3四半期 累計実績	前年同期比	11/30修正 通期計画	前期比
売上高		1,197	1,482	954	-20%	1,050	-29%
内 訳	パチスロ	700	862	324	-54%	-	-
	パチンコ	396	483	522	+32%	-	-
	その他/消去等	101	137	108	-	-	-
営業利益		258	263	151	-41%	85	-68%
営業利益率		21.6%	17.7%	15.8%	-5.8pt	8.1%	-9.6pt
パチスロ販売台数(台)		169,827	215,736	75,590	-55%	89,000	-59%
パチンコ販売台数(台)		111,104	138,321	129,778	+17%	136,000	-2%

**<2018年3月期 第3四半期実績>**
**【全体】**

- 規則改正を受け下期以降の販売スケジュールを見直し、販売タイトル数・販売台数が減少したため、通期業績予想を修正(11/30)
- 前年同期比で減収、減益

**【パチスロ】**

- 第3四半期において、2018年1月に稼働開始した『パチスロコードギアス反逆のルルーシュR2 C.C.ver.』を一部先行納品

**【パチンコ】**

- 『ぱちんこ蒼天の拳』シリーズに新システムを搭載し新たなゲーム性を実現した『ぱちんこC R蒼天の拳 天羅』等の販売を実施

**<今後の見通し>**
**【全体】**

- 改正前の規則下における許認可取得済みの機械の販売を進めるとともに、規則改正及び新たな自主規制に対応した機械の開発を進める

**【パチスロ】**

- 当グループ初の5.9号機である『パチスロコードギアス反逆のルルーシュR2 C.C.ver.』や『パチスロ戦場のヴァルキュリア』等の販売を実施

**【パチンコ】**

- スペック替えタイトルである『デジハネC R A蒼天の拳天帰』や『デジハネC R攻殻機動隊S.A.C.』等の販売を実施

## エンタテインメントコンテンツ事業

(億円)	2017年3月期		2018年3月期			
	第3四半期 累計実績	通期実績	第3四半期 累計実績	前年同期比	11/30修正 通期計画	前期比
<b>売上高</b>	<b>1,554</b>	<b>2,057</b>	<b>1,579</b>	<b>+2%</b>	<b>2,150</b>	<b>+5%</b>
内訳						
デジタルゲーム	350	473	289	-17%	-	-
パッケージゲーム	373	471	459	+23%	-	-
AM機器	374	494	339	-9%	-	-
AM施設	279	372	292	+5%	-	-
映像・玩具	165	227	169	+2%	-	-
その他/消去等	13	20	31	-	-	-
<b>営業利益</b>	<b>153</b>	<b>111</b>	<b>172</b>	<b>+12%</b>	<b>140</b>	<b>+26%</b>
内訳						
デジタルゲーム	53	49	33	-38%	-	-
パッケージゲーム	42	26	75	+79%	-	-
AM機器	33	17	36	+9%	-	-
AM施設	23	22	22	-4%	-	-
映像・玩具	10	12	16	+60%	-	-
その他/消去等	-8	-15	-10	-	-	-
営業利益率	9.8%	5.4%	10.9%	+1.1pt	6.5%	+1.1pt
<b>パッケージ販売本数 (万本)</b>	<b>813</b>	<b>1,028</b>	<b>1,428</b>	<b>+76%</b>	-	-
<b>国内AM施設店舗数</b>	<b>190</b>	<b>191</b>	<b>191</b>	-	-	-
<b>国内AM施設既存店売上高前年比</b>	<b>110.3%</b>	<b>108.5%</b>	<b>102.1%</b>	<b>-8.2pt</b>	-	-

### <2018年3月期 第3四半期実績>

#### 【全体】

- 前年同期比で増収・増益
- パッケージゲーム、アミューズメント機器分野を中心に新作タイトル販売が好調に推移したことから、通期業績予想を修正(11/30)

#### 【デジタルゲーム】

- 配信タイトル数(国内)：21本⇒22本
- 既存タイトルのイベント等により堅調に推移
- 当社グループ会社のf4samuraiが開発、運営を受託している『マジアレコード 魔法少女まどか☆マジカ外伝』が堅調に推移

#### 【パッケージゲーム】

- 3Dハイスピードアクションゲームの新作『ソニックフォース』が堅調に推移
- 新作『龍が如く 極 2』や、PCゲームの新作『Football Manager 2018』等が堅調に推移

#### 【AM機器】

- 主カタイトル『艦これアーケード』等のレベニューシェアモデルによる収益を計上
- 『UFO CATCHER』シリーズ等のプライズ機の販売が堅調に推移
- 音楽ゲーム『maimai』シリーズのアップデートとなる『maimai MiLK』を発売
- カジノ機器開発や販売に向けた先行費用等が発生

#### 【AM施設】

- 国内AM施設既存店売上高前年比**102.1%**
- プライズ機の新規導入や、プライズ等を中心とした施設の運営強化を実施
- 『SEGA VR AREA AKAIKE』等の新業態店舗の取り組みを強化
- 既存店舗において電子マネーの導入を実施(12月末時点：6店舗)

#### 【映像・玩具】

- 劇場版『弱虫ペダル RE:GENERATION』等の配給収入を計上
- 『アンパンマン』シリーズや『ディズニー&ディズニー/ピクサーキャラクターズ ドリームスイッチ』等の販売を実施

**エンタテインメントコンテンツ事業****<今後の見通し>****【全体】**

- デジタルゲーム、パッケージゲーム、アミューズメント機器の各分野において新作タイトルの投入を予定
- 新作タイトル投入に伴う営業費用等の発生を見込む

**【デジタルゲーム】**

- 引き続き既存タイトルのイベント等による収益貢献を見込む
- 新作タイトルを複数投入予定  
平成30年1月に新作『D×2 真・女神転生 リベレーション』の配信を開始し、好調にスタート

**【パッケージゲーム】**

- 新作タイトルを複数投入予定  
『北斗が如く』（3月）  
『戦場のヴァルキュリア4』（3月）等

**【AM機器】**

- 引き続き『UFO CATCHER』シリーズ等のプライズ機の収益計上を見込む
- 『SOUL REVERSE』、『SEGA World Drivers Championship』等の新作タイトルの投入を予定
- カジノ機器開発や販売に向けた先行費用等が発生

**【AM施設】**

- 引き続きプライズを中心とした施設オペレーションの強化を実施
- 『セガコラボカフェ』やVR施設等の新業態店舗の取り組みを強化
- 引き続き既存店舗の電子マネー導入の対応を実施

**【映像・玩具】**

- テレビアニメ『弱虫ペダル GLORY LINE』等の制作収入の計上を見込む
- 『かまどでやこう♪ ジャムおじさんのやきたてパン工場』等の定番、主力製品の販売を予定

**リゾート事業**

(億円)	2017年3月期		2018年3月期			
	第3四半期 累計実績	通期実績	第3四半期 累計実績	前年同期比	11/30修正 通期計画	前期比
売上高	105	130	73	-30%	100	-23%
営業利益	-18	-22	-18	-	-30	-

**<フェニックス・リゾート>**

売上高	60	84	67	+12%	-	-
営業利益	-8	-8	-5	-	-	-
施設利用者人数 (千人)	411	561	449	+9%	-	-
宿泊3施設	214	293	237	+11%	-	-
ゴルフ2施設	63	87	70	+11%	-	-
その他施設	134	181	142	+6%	-	-

**<パラダイスセガサミー>**

売上高 (10億KRW)	69	95	129	+87%	-	-
営業利益 (10億KRW)	2	-0	-30	-	-	-
利用者数 (千人)	39	57	117	+200%	-	-

※「パラダイスセガサミー」は当社持分法適用関連会社  
 ※「パラダイスセガサミー」の数値は3ヶ月遅れで計上

**<2018年3月期 第3四半期実績>**

- 前期に屋内型テーマパーク（ジョイポリス）を運営する子会社株式を一部売却したことにより、前年同期比で減収
- IR（統合型リゾート）事業における先行費用発生

**<今後の見通し>**

- 『フェニックス・シーガイア・リゾート』において各種スポーツキャンプに合わせた集客施策を実施予定
- 引き続きIR（統合型リゾート）事業における先行投資等を計画

※本資料における業績見通し等の内容は、現時点で入手可能な情報に基づき、経営者が判断したものであります。従って、これらの内容はリスクや不確実性を含んでおり、将来における実際の業績は、様々な影響によって大きく異なる結果となりうることを予めご承知おき下さい。